

[USBメモリのセキュリティ]手動によるセキュリティ解除が必要になった場合の原因の調べ方

このドキュメントはセキュリティ解除時に手動によるセキュリティ解除が必要になった場合の原因の調べ方について説明しています。

手動によるセキュリティ解除が必要な場合、USBメモリの再接続でセキュリティ解除できますので、そのまま使っていただいても差し支えありませんが、原因が判明した場合は「手動によるセキュリティ解除」が不要な状態にさせていただくことも可能です。

「手動によるセキュリティ解除」が必要な場合、通常は他のアプリケーションが影響しています。他のアプリケーションの中でも市販のウィルス対策ソフトが影響していることが多いようです。

【調べ方1】

市販のウィルス対策ソフトを利用されている場合は、監視機能を停止して改善しないか試して下さい。利用されていない場合は【調べ方3】をお試し下さい。確認後変更を戻して下さい。

【調べ方2】

一部の市販のウィルス対策ソフトはアンインストールしないと改善しない場合があるようです。

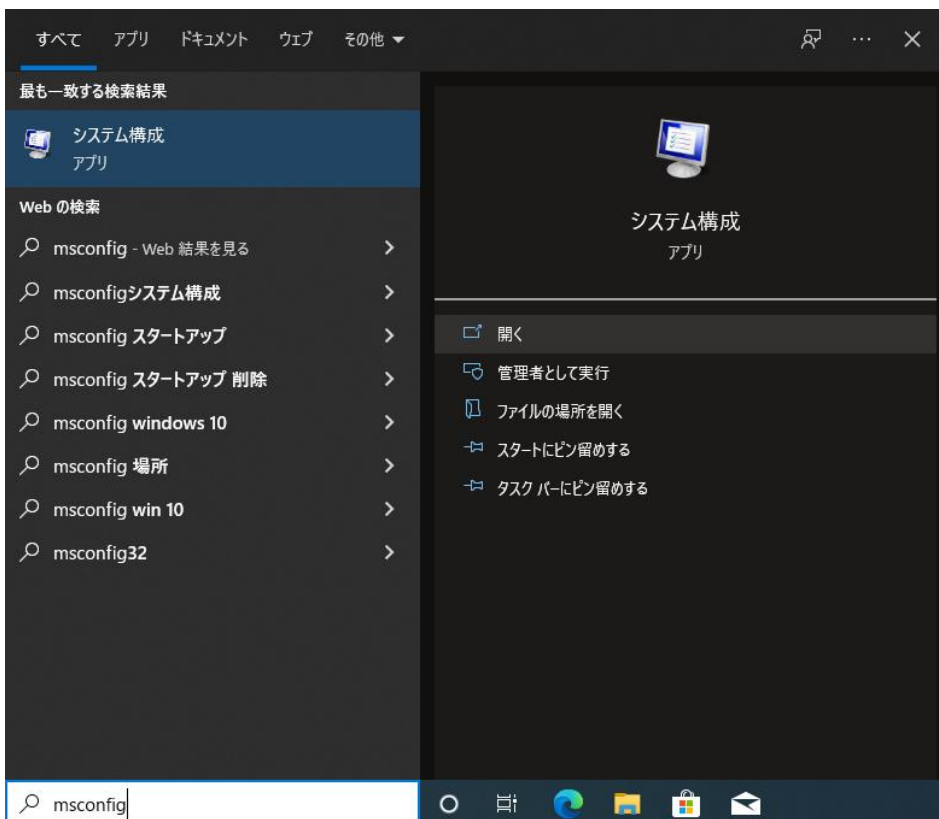
【調べ方1】で改善しない場合、市販のウィルス対策ソフトを一旦アンインストールして改善しないか試して下さい。確認後インストールして元に戻して下さい。

【調べ方3】

市販のウィルス対策ソフト以外に原因がないか次の方法で調べていただけます。

(1)

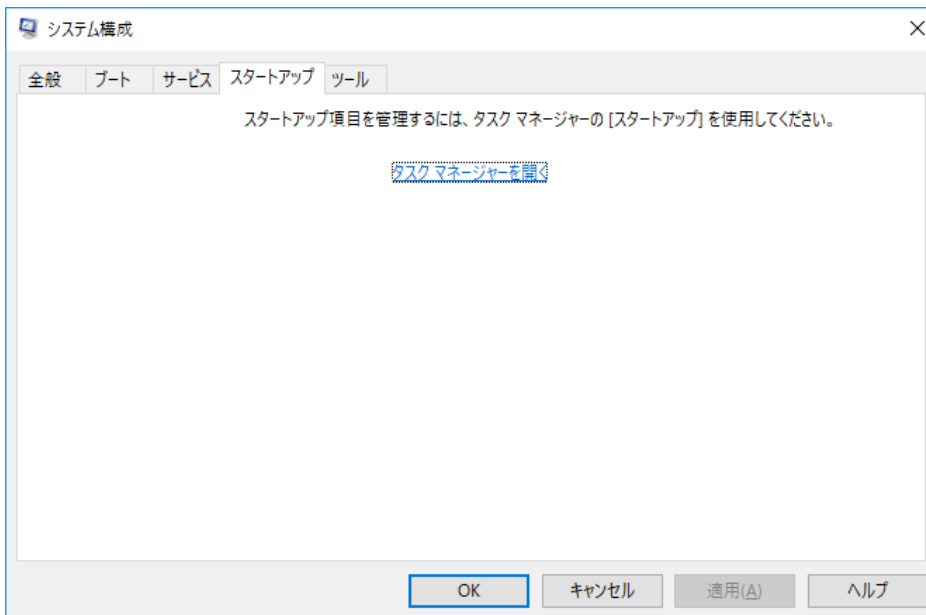
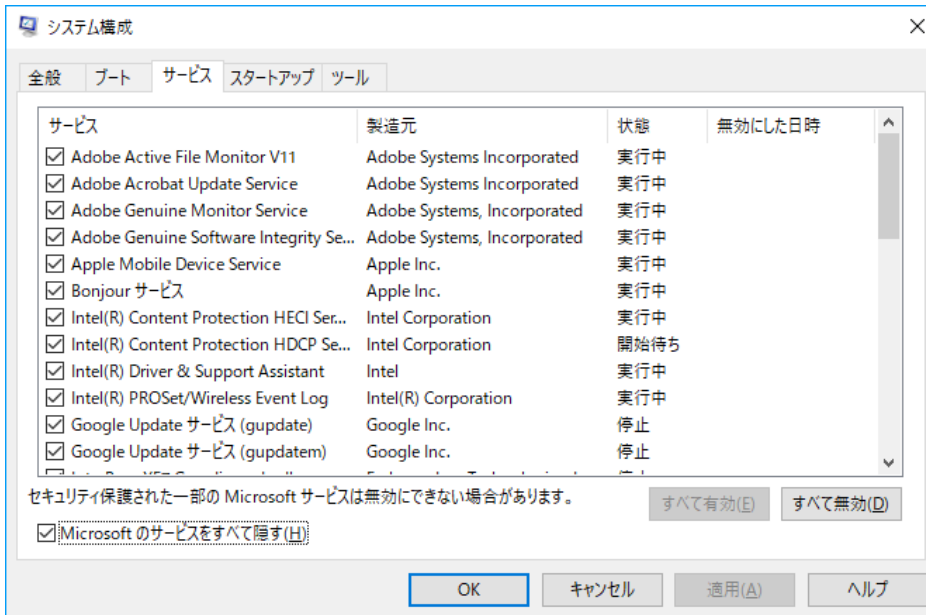
msconfig を検索してシステム構成を開きます。



[USBメモリのセキュリティ]手動によるセキュリティ解除が必要になった場合の原因の調べ方

(2)

システム構成のサービスのページで、「Microsoft のサービスをすべて隠す」をチェックした状態で、「すべて無効」にしてください。スタートアップのページで「タスクマネージャーを開く」をクリックして表示されるタスクマネージャーの画面で、スタートアップの状態を全て無効にしてタスクマネージャーを終了し、システム構成の画面をOKボタンで終了後、PCを再起動して下さい。



※あとで元に戻せるよう変更前の状態をメモしておいて下さい。

(3)

PC再起動後、USBメモリを接続して正常にセキュリティ解除できないか試していただき、改善すれば起動しなくなったソフトのいずれかに原因があります。

※(2)でおこなった変更を元に戻していただくをお願いします。